

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	山県市ピッコロ療育センター(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 27日		～ 令和7年 11月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 27日		～ 令和7年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	・ノートを使い、家庭や園での様子を把握して指導に生かしている。また、ピッコロでの様子を分かりやすく記すことで、家庭内でも共有できるようにしている。 ・指導のなかでも活動の狙いや支援の方向性等を意識して伝えるようにしている。	・ノートを上手く活用するとともに、子どもや保護者との対話も引き続き大切にし、現状や今後の支援等についての共通理解が深まるようにしていく。
2	・共感的に支援している。	・子どもの話をじっくり聞いたうえで、こちらからも提案するようにしている。 ・子どもの目線になって物事を考えるように意識している。	・今後も子どもの行動の背景を探り、解決策を検討していく。
3	・子どもが安心感を持って通所している。	・担当指導員を固定することで、親子とも信頼関係を築けるようにしている。 ・個別指導のため、その日の様子に応じて指導内容等を臨機応変に変えながら対応している。	・引き続き思いが伝えやすい雰囲気を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	・保護者向けの行事を行ったり、指導のなかできょうだいも一緒に活動したりはしているが、父母の会や保護者会は現在なく、きょうだい同士で交流する機会も設定していない。	・コドモンも活用しながら、保護者向けの行事を行っていることをしっかりと周知していく。 ・保護者のニーズを確認し、必要に応じて方法等も含めて検討する。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がある。	・地域の保育園や幼稚園等に通っている子が多いため、施設としてそのような機会は設定していない。	・今後保護者のニーズを確認し、必要に応じて機会の設定も検討する。
3	・定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている。	・市のホームページの一部のため、施設のページを見つけにくい。	・コドモンも活用し、行事予定等を発信していく。 ・自己評価の結果はホームページ上に公表し、公表した際は保護者に伝える。